



生駒市独自の総合防災システムが4月から始動

～防災DXの大きな柱として導入！災害対応の効率化を進めます～

近年の激甚化、頻発化する災害に対応するため、情報を収集・分析・共有し、一元管理が可能となる本市独自の「総合防災システム」を構築し、4月から始動します。

■ 導入のねらい

これまで、職員が気象情報や河川情報等の掲載サイトを複数閲覧しながら、状況判断しており、被害情報の受付や共有も紙ベースでのアナログ対応でした。そのため、全体状況の把握や対応方針の決定等に遅れが生じ、災害情報の発信にも時間を要していました。

本システムの導入により、災害発生時の正確な被害情報の把握、避難所情報の閲覧、迅速な対応方針の決定、災害情報の発信等の効率化を進めることが可能となり、市民の皆さんの生命・財産を守る強力なツールとして活用します。

■ システムの概要

- 1 業務委託事業者 沖電気工業株式会社 関西支社
- 2 一元管理する主な情報

気象情報、河川情報、キキクル（災害の危険度分布）、ハザードマップ、ライフライン情報、被害情報、避難情報、避難所の開設情報や避難者数、本部体制、備蓄品状況、職員参集状況など

- 3 システムの主な機能

- ①地図上での被害情報の一元把握
- ②対応状況の時系列及び項目別管理
- ③避難情報の管理及び発令判断支援
- ④市公式LINEでの被害情報の受付
- ⑤AIを活用したSNS情報の収集
- ⑥避難所情報の管理（Webアプリ「災救マップ」との連携）
- ⑦緊急速報メール（エリアメール）やLINEなどと連携した災害情報の一括発信

※4月からの運用開始に向けて、3月12日（水）に市役所庁内全部署を対象に操作研修会を開催し、庁内体制についてもシステム構築と併せて強化を進めています。



▲災害対策本部の共有画面のイメージ

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市総務部防災安全課（課長 甫田、企画官 谷）☎0743-74-1111（内線 3100、3102）